

飯舘村の皆様

聞き取り調査ご協力のお礼と報告

本年もよろしく申し上げます。

福島原発事故から3回目のお正月を迎えられ、いまだに避難生活を送っておられる飯舘村の皆さんのご苦勞は私たちには察するに余りあるものですが、本年が、皆様の生活再建へ向けて着実に進む年になることを願っています。

さて、昨年度は、私たちが実施した「飯舘村初期被曝評価プロジェクト」の聞き取り調査へのご協力ありがとうございました。おかげ様で、496軒のご家族、人数にして1812名の方々について、地震・津波が起きてから原発事故にともなう放射能汚染によって避難されるまでの行動に関する情報を得ることができました。この人数は、飯舘村人口の約3割に相当しており、その分析によって、村全体の方々の初期被曝量を推し量ることができるものと考えています。

本日は、これまでにまとめた初期外部被曝量の結果を、添付のパンフレットのよう
に報告させていただきます。1812名の方々の平均で7.0ミリシーベルト、最大は23.5ミリシーベルトという結果が得られております。ただし、これらの値はあくまで推計値であり、算出するプロセスで用いた仮定にはさまざまな不確かさが含まれており、得られた値も不確かさをともなうものであることをご承知願います。なお、今回のまとめは村全体と地区別の結果についてですが、ご家族の個人別の値を希望される方は、同封のハガキにて今中まで返信下さるようお願いいたします。

また、数値の出し方や被曝量の意味など、専門的な知識が必要なことについては、今中が仮設住宅などに出かけて皆様に直接ご説明できる機会を持ちたいと思っております。日時などは未定ですが、そうした際にはよろしく申し上げます。

御礼方々

2014年1月

飯舘村初期被曝評価プロジェクト代表

今中哲二

京都大学原子炉実験所
590-0494 大阪府泉南郡熊取町
Tel 072-451-2443
Fax 072-452-8193

imanaka@rri.kyoto-u.ac.jp

追伸:JR福島駅前のキッチンガーデンビルに置いていました「福島事務所」は閉鎖しました。今後の連絡は今中宛に直接お願いします。

◇ 飯舘村初期被曝評価プロジェクトメンバー

今中 哲二	代表、京都大学原子炉実験所
明石 昇二郎	ルポルタージュ研究所
家田 修	北海道大学
石田 喜美恵	ふえみん
市川 克樹	オフィス・ブレーン
糸長 浩司	日本大学
浦上 健司	日本大学
遠藤 暁	広島大学
大瀧 慈	広島大学
小澤 祥司	エコロジー・アーキスケープ
上澤 千尋	原子力資料情報室
川野 徳幸	広島大学
鬼頭 秀一	東京大学
佐川 よう子	プロジェクト事務局
佐久間 淳子	立教大学
澤井 正子	原子力資料情報室
沢野 伸浩	金沢星稜大学
城下 英行	関西大学
菅井 益郎	國學院大學
那須 圭子	福島から祝島へ 子ども保養プロジェクト
庭田 悟	ルポルタージュ研究所
畠山 理仁	フリーランスライター
林 剛平	東北大学
振津 かつみ	兵庫医科大学
渡辺 美紀子	原子力資料情報室